

事業所名		シーズゆう（児童発達支援事業）				支援プログラム				作成日		2025 年		1 月		30 日	
法人（事業所）理念		誰もが人としてその尊厳が保たれ、安心し、豊かな活動や暮らしを保障していくことを目指します 誰もが住み慣れた地域で暮らし続けることのできる社会の実現を目指します															
支援方針		日々のプログラムを通して、子ども達一人ひとりに寄り添う支援に取り組み、子ども達の発達を丁寧に促します															
営業時間		火～金	9	時	30	分から	18	時	30	分まで	送迎実施の有無		なし				
		学校休業日	8	時	30	分から	17	時	30	分まで							
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	身の周りのことや日常生活動作の自立を目指し、トイレへの定時排泄の促しや手洗い、着替え、荷物の支度等を一緒に取り組みます															
	運動・感覚	公園遊びや室内運動（例：ボール遊びやサーキット、風船バレー、わなげ等）を取り入れ、遊びながら全身を動かします															
	認知・行動	音楽療法では、好きな楽器を見つけたり楽器の響きを奏でることで、安心して自分を出し、五感を使って感受性を養います															
	言語 コミュニケーション	一人ひとりの子どもの発達や理解する力に合わせて絵カードや写真カードを活用することで、活動の見通しを持って安心して取り組めるように配慮します 選択カード（写真）を用いて、好きな玩具の選択等ができるようにしています															
	人間関係 社会性	集団活動（勝敗のあるゲームやごっこ遊び等）を通して、ルールを守りながら対決する楽しさや玩具の貸し借りをする時等の気持ちの良いコミュニケーションを体得します															
家族支援		保護者会を通して保護者様同士の交流を図り、現状やお悩み等を共有していただきます 心理士との面談を通してアドバイスを行います								移行支援		保育園や幼稚園を卒園後の進学について一緒に考えます また、法人内の他部署（生活介護、就労支援継B型等）のご説明を交えながら学校卒業後について一緒に考えます					
地域支援・地域連携		年に一度の地域のお祭りに参加して、地域との交流の活性化を図ります 放課後等事業所連絡会を主体となって開催することで、伊丹市や教育委員会、学校現場、事業所同士の情報共有の場を提供します								職員の質の向上		法人内研修や外部研修に参加して、研修内容を現場に生かします 定期的な会議を実施し、一人ひとりの子どもの成長について、それぞれの職員の支援の方向性を揃えていきます					
主な行事等		8月：夏祭り 10：ハロウィンイベント 11月：音楽祭 12月：クリスマス会 2月：節分 3月：お別れ会															